

## 学生との対話 in 三重大大学 2020

### アンケート結果

2020 年 11 月 7 日（改定 1/11 月 13 日）

報告者 SNW 若杉和彦

#### 1. 学生アンケートの集計結果

##### （1）回答者

教育学部学生 8 名 \*2 年生の 1 名は欠席。

内訳：4 年生 3 名（男性 1、女性 2）

3 年生 3 名（男性 2、女性 1）

2 年生 2 名（男性 1、女性 1）

専攻 理系（専攻：技術・ものづくり教育コース）6 名

文系（専攻：文理統合系）2 名

進路 就職 6 名 進学 2 名（希望進学先、分野：教育）

##### （2）日本や世界の出来事への関心

- 年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について、該当するものをチェック下さい。

（6）大変関心がある。（0）あまり関心が無い。（2）どちらとも言えない。

- エネルギー問題への関心について、該当するものをチェック下さい。

（7）大変関心がある。（0）あまり関心が無い。（1）どちらとも言えない

- 日本のエネルギー自給率について、該当するものをチェック下さい。

（2）日本のエネルギー自給率を正確に知っている。

（6）だいたい知っている。（0）関心を持ったことはなく全く知らない

- 社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心について、該当するものをチェック下さい。

（5）関心があり情報を得るように心がけている。

（1）あまり関心はない。（2）どちらとも言えない。

##### （3）今回の遠隔講演、対話について伺います。該当するものをチェックして下さい

—画像、音声

（7）画像、音声とも問題なかった。（1）画像、音声とも改善の余地がある。（具体例；画像と音声が入り混じってしまったり、私たち学生が講演を聴けない時間があった。）

（0）どちらとも言えない。

—対話の進行や双方向性について

（7）一定の双方向性があり適切な進行であった。

- (0) 進行や双方向性については改善の余地がある。(具体例; )
- (1) どちらとも言えない。
- (4) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？
- (7) とても満足 (1) ある程度満足 (0) やや不満 (0) 大いに不満
- 理由：(誤字を除いて原文のままとした。以下同じ。)
- ・ 日本のエネルギー自給率が低いことは知っていたが、自給率が9.6%であることは知らなかったから。また、再エネの課題や原子力発電を増やすことの良さを知ることができたから。そして、今後の日本のエネルギーの課題を解決する方法を知ることができたから。
  - ・ 専門家の方のお話を聞いて、正しい情報を知ることができたから。
- (5) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？
- (8) とても満足 (0) ある程度満足 (0) やや不満 (0) 大いに不満
- 理由
- ・ 正しい情報を知るために疑うことの大切さを知ることができたから。
  - ・ 小さな疑問についても聞くことができ、自分なりに考えることができたから
- (6) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？
- (6) 十分聞くことができた (2) ある程度聞くことが出来た
- (0) あまり聞けなかった (0) 全く聞けなかった
- (7) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答も可)
- (8) 新しい知見が得られた。(4) マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった
- (1) 自分の将来の進路の参考になった。(5) 教育指導の参考になった。
- (0) 特に新しい知見は得られなかった。(0) その他 (具体例：)
- (8) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？
- (6) 非常にある (2) ややある (0) あまりない (0) 全くない
- 理由：
- ・ 生きてきた経験が違うからこそ、私たちとは違う考えを持っていると思うし、対話を通して新たな気づきを得られると思うから。
  - ・ 学生にはない新しい知識や考え、正しい情報を知ることができるから。
  - ・ 専門家の方のお話を聞くことで、これからの社会を作っていく学生の意識が変わると思うから。
  - ・ 専門家であり、人生の先輩方と話す機会はとても、有意義でありがたかった。
- (9) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？
- (3) まだまだ話したりないので参加したい (5) もっと知識を増やしてから参加したい
- (0) 十分話ができたらもういい (0) 二度も必要ないと思うからもういい
- (0) その他 ( )
- (10) 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)

- ① 放射線、放射能はやはり怖い。(3名)
- ② 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。(4名)
- ③ 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。(3名)
- ④ 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。(1名)

(11) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力(2030年に発電電力20~22%)とし、今後は省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか?その理由は?(複数回答も可)

- (6) 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。
- (1) 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。
- (0) 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。
- (0) 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (1) どうすればいいかよく分からない。

理由:

- ・ 現実的な発電方法が他にないから。
- ・ 原子力は危ないというイメージが強いからこそ、現在はあまり良いイメージを持っていないと思うからそういう認識を変えていくべきだと思うから。
- ・ 原子力発電により地球温暖化を防ぐことができると分かったから。
- ・ 安全なレベルや使用することについての理解は深まったが、何か起こってからでは遅いという反対意見もわかるのでどうすべきかわからない。
- ・ 日本のエネルギー自給率や環境の問題を考えると、現時点では、原子力発電が必要だと思ったから。

(12) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・ 講演会も2回目ということもあり、1度目は原子力発電の良い部分に驚きを感じる部分が大きかったが、今回は原子力発電が安定して電力を得られ環境に良いことと、現実味がある他の方法がないことをより深く理解できた。これからもエネルギーについての事実を学んで、それを教えられる理性と見識のある教師になりたいと思った。その上で、エネルギー問題に問題意識や危機感を社会として持っていくために、子どもたちに深く考えさせたい。今までは、賛成か反対かというようなことを考えさせる授業はあっても、そこから解決策など新たな案を生み出すような授業はあまりなかった。少子高齢化や新型コロナウイルス感染症などたくさんの課題があるからこそ、新たなものを生み出すことを意識していきたい。そして私にできることがないか、どのような社会になってほしいかを絶えず考えながら、少しでも貢献できるようにしていきたい。
- ・ エネルギーに関心を持つきっかけとなりました。今回の講演を自分の将来につなげていきたいと思います。ありがとうございました。

- ・ エネルギーや地球温暖化についてたくさんの知識や考えを知ることができました。対話では質問に対して丁寧に話してくださりありがとうございました。自分の視野や考えを広げることのできたとてもよい機会でした。ありがとうございました。
- ・ どうやったら途切れなく電気を供給できるか本質的に考えていく必要があることを強く認識した。
- ・ 原子力がいいのか悪いのかについて議論しがちだが、これからの日本のエネルギー源をどのようにして確保していくのかについて議論していく必要があり、現時点でできる最善の方法が何かを考え議論する必要があると思った。
- ・ とても有意義だったこともあり、時間が足りなかった。

## 2. まとめと感想（若杉）

- 今回は遠隔講演・対話の最初の試みであったが、特に大きな問題はなく意思疎通ができた。
- 講演・対話ともにほとんど全員が満足し、聞きたいことも聞けたとした。
- 全員が対話から“新しい知見”を得られたとし、“教育指導の参考”と“マスコミ報道との違い”がそれに続いた。
- 大多数が対話の必要性を“非常にある”としているが、“再度対話したい”よりも“もっと知識をつけてから”対話の回答が多かった。
- 放射線、放射能について“一定のレベルまでは恐れる必要ない”と大多数が理解しているが、8名中3名(38%)が“やはり怖い”とした。放射線教育の必要性を強く感じる。
- 原子力の必要性は学生に良く理解されたと思う。教育系学生から将来子供に教えるための心構えや自覚を強く感じ、好感を覚えた。彼ら、彼女らの活躍を期待したい。